

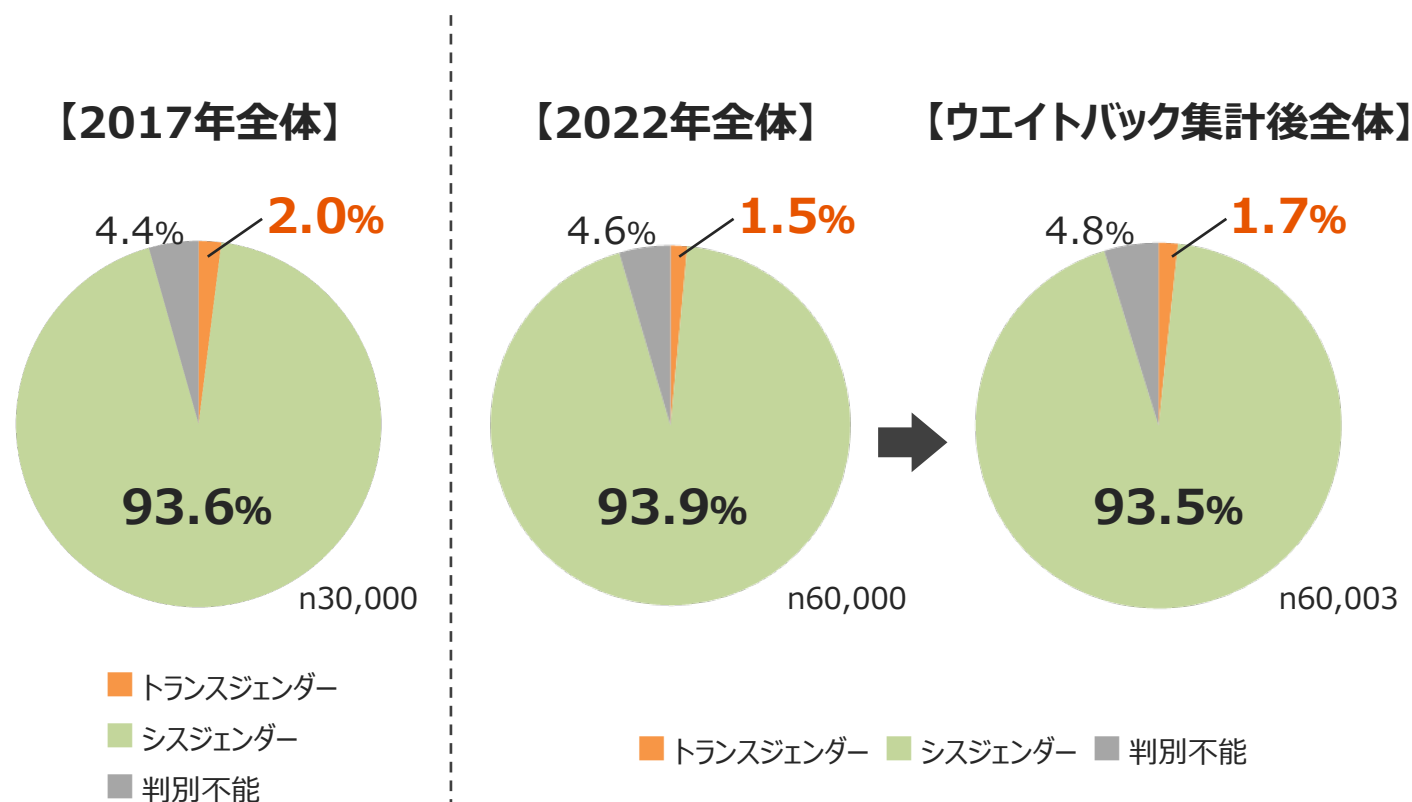
3. 調査結果報告

3-1. トランスジェンダーの割合

回答者におけるトランスジェンダー※の割合

※出生時戸籍性別と性自認の回答が一致しない人を総称して「トランスジェンダー」とした。
そのため、性自認をXジェンダー・中性・無性、わからない・決めたくないと回答した人も含む。

- 回答者全体（20～59歳の有職者60,000人）におけるトランスジェンダーの割合は1.5%であった。
- 20代の回答者数が少ないエリアについては、他の年代の回答者で補完を行ったこと、若い世代（20～30代）の方がトランスジェンダーに該当する回答者が多かったことから、ウェイトバック集計を行った。ウェイトバック後のトランスジェンダーの割合は1.7%であった。
- 2017年の調査では、尋ね方が異なるものの2.0%であり、2%弱程度は存在すると考えられる。
- 性別違和の程度はさまざまであり、性同一性障害や性別違和等で医療機関を受診していない人も多く含まれる。



- ✓ 「出生時の戸籍性別」と「自認する性別」の回答が一致しなかった人をトランスジェンダーとする注。
- ✓ 性別違和の程度により、トランスジェンダーをどう定義するかによって割合は異なる（次ページ参照）。

（注）下記設問②で「別の性別だと捉えている」または「違和感がある」と回答、かつ①と②の回答が一致しなかった人（詳細はpp.10-11参照）
ただし、2017年は①と③のみで②は尋ねていない。

設問①：あなたの出生時の戸籍の性別をお知らせください（ひとつだけ）
→ 回答選択肢：男性 / 女性

設問②：あなたは、前問で回答した「出生時の戸籍の性別」と、現在のご自身の性別を同じだと捉えていますか？（あてはまるものすべて）
→ 回答選択肢：出生時の戸籍の性別と同じ（排他） / 別の性別だと捉えている / 違和感がある

設問③：あなたが捉えている「現在のご自身の性別」として最も近いものをお知らせください（ひとつだけ）
→ 回答選択肢：
男性 / どちらかといえば男性 / どちらかといえば女性 / 女性 / Xジェンダー・中性・無性など / わからない・決めたくない・その他 / 答えたくない

回答者におけるトランスジェンダーの割合：トランスジェンダーの定義の仕方による違い

※定義の仕方については、
pp.10-11【補足：本研究における
「トランスジェンダーの定義」について】参照

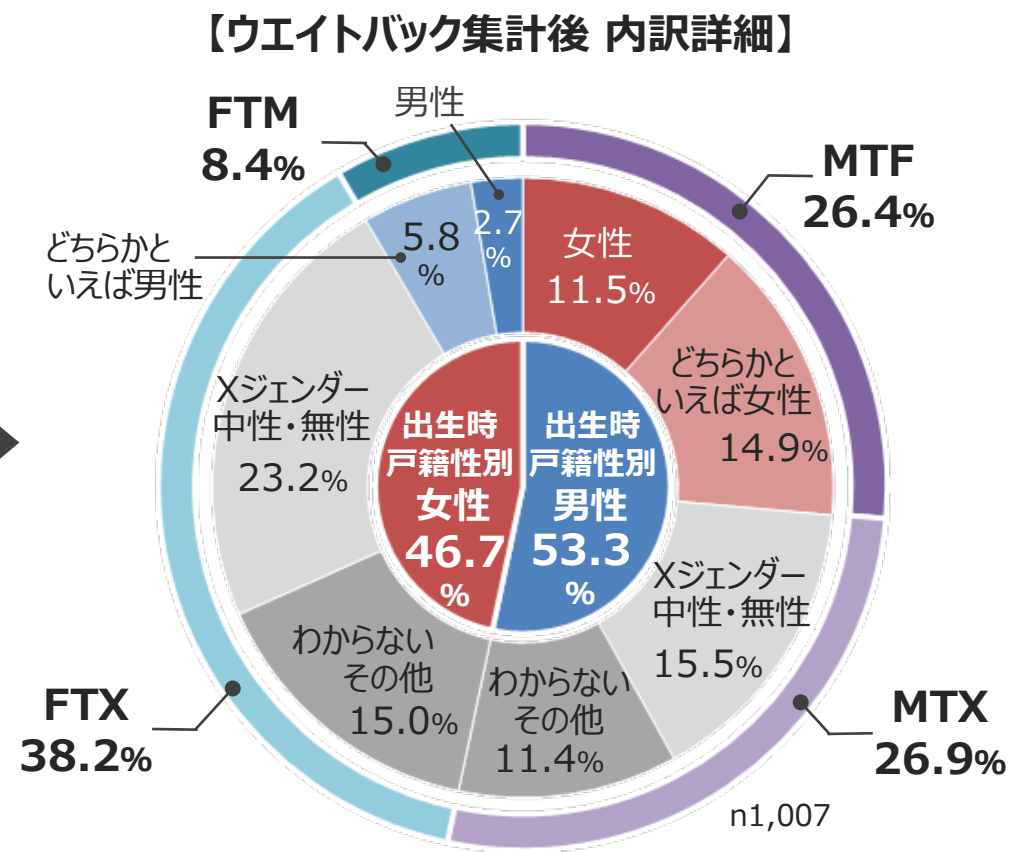
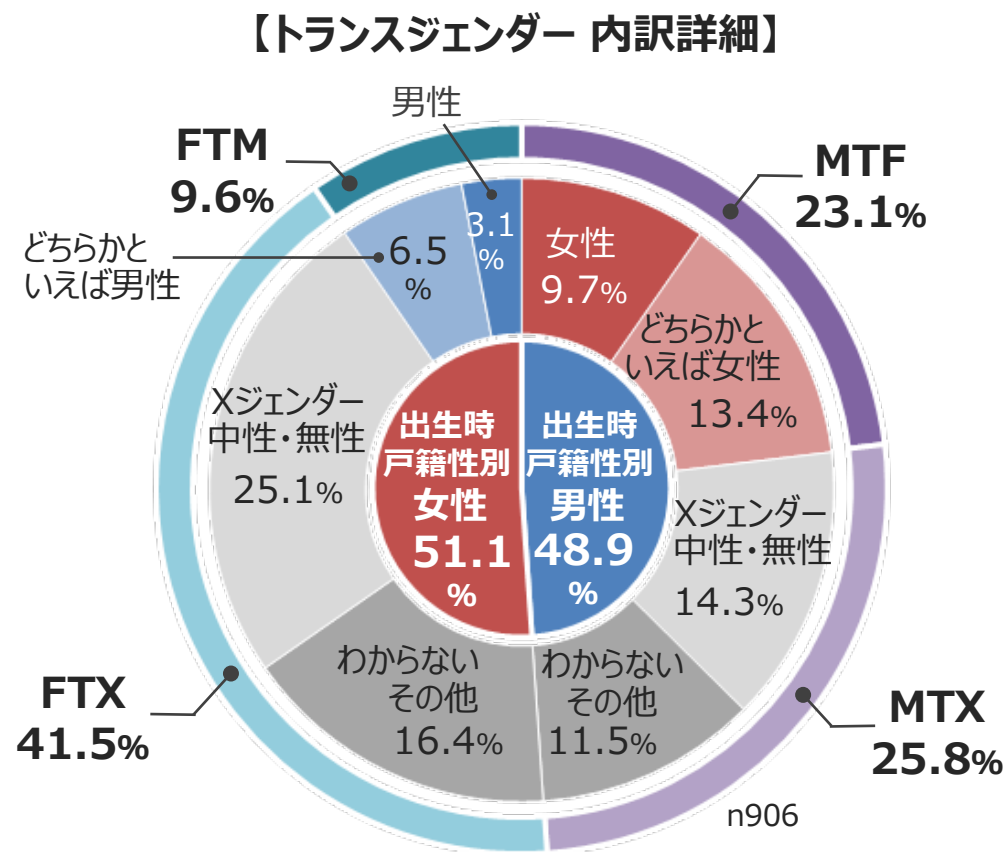
- トランスジェンダーの定義の仕方（どのような性自認か、性別違和の程度など）により、割合に違いが出る。
- ウェイトバック後のそれぞれの割合は、性自認が「女性」または「男性」のどちらかに寄っている回答者（性自認がバイナリーであり、「Xジェンダー」や「わからない」等の「ノンバイナリー」や「クエスチョニング」等は含まない）の割合は0.59%であった。
- さらに「どちらかといえば男性、または女性」を含まない、性自認が明確に男女どちらかと回答した人に絞ると0.24%であった。
- 性自認が男女の枠に当てはまらない回答者（参考欄）は、1.09%であり、性自認が男女どちらかに寄っている回答者より多い傾向にある。

ウェイト バック前	No.	トランスジェンダー定義	解釈	性自認 出生時 戸籍性別	男性	どちらかとい えば男性	どちらかとい えば女性	女性	Xジェンダー・ 中性・無性など	わからない・決めた くない・その他	答えたくない	出現率
	1	性自認が出生時の戸籍と異なる回答者 (Xジェンダー・中性・無性、わからない・その他含む)	広	男性	—	—	○	○	○	○	—	1.51%
				女性	○	○	—	—	○	○	—	
	2	性自認が男性寄りまたは女性寄りの回答者のみ (Xジェンダー・中性・無性、わからない・その他を含まず)	↕	男性	—	—	○	○	—	—	—	0.49%
				女性	○	○	—	—	—	—	—	
	3	性自認が男性または女性を選択した回答者のみ (どちらかといえば を含まず)	狭	男性	—	—	—	○	—	—	—	0.19%
				女性	○	—	—	—	—	—	—	
参考		性自認が男女の枠に当てはまらない回答者のみ (Xジェンダー・中性・無性、わからない・決めたくない・その他)	参考	男性	—	—	—	—	○	○	—	1.02%
				女性	—	—	—	—	○	○	—	

ウェイト バック後	No.	トランスジェンダー定義	解釈	性自認 出生時 戸籍性別	男性	どちらかと言 えば男性	どちらかと言 えば女性	女性	Xジェンダー・ 中性・無性など	わからない・決めた くない・その他	答えたくない	出現率
	1	性自認が出生時の戸籍と異なる回答者 (Xジェンダー・中性・無性、わからない・その他含む)	広	男性	—	—	○	○	○	○	—	1.68%
				女性	○	○	—	—	○	○	—	
	2	性自認が男性寄りまたは女性寄りの回答者のみ (Xジェンダー・中性・無性、わからない・その他を含まず)	↕	男性	—	—	○	○	—	—	—	0.59%
				女性	○	○	—	—	—	—	—	
	3	性自認が男性または女性を選択した回答者のみ (どちらかといえば を含まず)	狭	男性	—	—	—	○	—	—	—	0.24%
				女性	○	—	—	—	—	—	—	
参考		性自認が男女の枠に当てはまらない回答者のみ (Xジェンダー・中性・無性、わからない・決めたくない・その他)	参考	男性	—	—	—	—	○	○	—	1.09%
				女性	—	—	—	—	○	○	—	

トランスジェンダー回答者のジェンダー内訳

- トランスジェンダー回答者のうち、ウェイトバック後では、出生時の戸籍性別が男性の方が女性よりやや多く、半数を超えた。性自認では、Xジェンダー、わからない等の回答者が6割以上を占めた。
- 出生時の戸籍性別が男性の場合は、性自認が女性またはX等の割合がほぼ同率であったのに対し、出生時の戸籍性別が女性の場合は、性自認が男性よりもX等の方が圧倒的に多く、その比率は概ね1:4であった。



内円：出生時戸籍性別／中円：性自認／外円：トランスジェンダー 4 区分